

個別目標 1-1 | 未来を拓き地域を担う子どもを、みんなで育むまちにします

施策 1-1-3

未来を担う子どもたちを育てます



【10年後のめざす姿】

● 学校・地域・家庭が手を携えて、子どもたちの「生きる力」を育んでいます。

【10年後のめざす姿にどれだけ近づいたかを測るモノサシ(指標)と目標値】



モノサシ(指標)	現 状	25年度	30年度
大田区学習効果測定【中3数学・期待正答率を超えた生徒の割合】(%)	58.3%	60.0%	62.0%
不登校生徒出現率【中学校】(%)	3.73%	3.43%	3.23%
体力調査・50m走【小6男女】(秒)	男子(8.96秒) 女子(9.24秒)	男子(8.91秒) 女子(9.19秒)	男子(8.86秒) 女子(9.14秒)

【現状と課題】

子どもたちの教育環境は、IT*の急激な発展、少子化・核家族化の進展など、社会状況の変化により様々な影響を受けています。また、規範意識*の低下、学ぶ意欲の低下も見られ、いじめ、不登校などが課題となっています。

こうしたなかで、大田区の未来を担う子どもたちが、確かな学力を身につけ、優しさや社会性を持ち、たくましく生きる力をつける、豊かな教育環境をつくる必要があります。

また、技術の進歩や情報化の進展に伴って、それらを教育活動の中で活用するとともに、氾濫する情報から子どもたちを守り、適切に利用できるような指導が必要となっています。今後、国際化への対応がますます必要となるなかで、子どもたちが多様な文化とふれあい、交流できるようにするとともに、増加する海外からの帰国者や外国人などに対する日本語指導を充実する必要があります。

家庭や地域の教育力の低下が指摘される一方で、学校を支える地域の活動は広がりつつありますが、特定の人材に負担がかかっている状況が見られます。地域の特性や多様性を尊重し、一人ひとりの子どもに向き合う教育を推進していくためには、地域の一層の協力を得るための新しい仕組みづくりが不可欠となっています。

【 施策の体系 】

枠で囲んである事業は、その主な取り組み内容を次ページ以降で紹介しています。

未来を担う子どもたちを育てます

生きる力を育む教育の推進

- 基礎学力の定着
- 習熟度別指導の充実
- 読書活動の推進
- 小中一貫教育*の推進
- ICT*教育の推進
- 国際理解教育の推進
- 人権教育の推進
- 体験学習(自然・職場)の推進
- 食育*の推進、基本的な生活習慣の確立
- 部活動の推進
- 幼児教育への支援

一人ひとりに向き合う教育の推進

- 学校支援体制の整備
- 教育相談の充実
- スクールカウンセラー事業の充実
- 不登校施策の充実
- 特別支援教育の推進
- 日本語指導教室の充実

教育の質の向上と環境の整備

- 教員の指導力向上
- 学校施設の改築
- 学校施設の緑化の推進
- 校外施設の整備
- 学校運営システムの構築

地域力を活かした学校づくり

- 開かれた学校づくりの推進
- 夏季特別指導の拡充
- 学校支援地域本部の設置
- 子ども安全ボランティア*の推進
- 家庭の教育力の向上

【 施策の方向性と主な事業 】

①生きる力を育む教育の推進

基礎・基本的な学力を身に付け、自ら課題を見つけ、学び、考え、主体的に判断し、行動する資質や能力が身につく教育を推進します。また、自らを律しつつ、他人を思いやる心や感動する心、たくましく生きるための健康・体力づくり等、子どもたちの「生きる力」を育むと同時に、人権教育や食育*、読書活動の推進、国際化・情報教育への対応、小中一貫教育*の推進等、社会や子どもたちの変化に応じた柔軟な教育施策を展開します。

計画事業名	基礎学力の定着						
主な取組内容	算数・数学において内容のまとめごとと到達度確認プリントを使用し、到達状況を確認しながら指導します。また、到達状況をチェックシートで児童・生徒・保護者に示しながら、習熟に応じたプリントにより家庭学習を支援します。併せて、学習指導講師による算数・数学・英語の補習教室を放課後や土曜日に実施し、基礎学力の定着を図ります。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
算数・数学到達度確認プリントによるチェック 習熟度別プリントによる家庭学習の支援学習 指導講師による算数・数学・英語の補習	実施						継続

計画事業名	小中一貫教育の推進						
主な取組内容	各種小中一貫教育プログラムを策定・実施するとともに、小中学校の情報連携をさらに充実させ、小学校から中学校へのより円滑な接続と学習成果の向上をめざし、小中一貫教育を推進します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
小中一貫教育プログラムの実施	規範意識*向上プログラム						継続
	英語活動プログラム	検討	策定	実施			継続
	体力向上プログラム	検討	策定	実施			継続
新たな教育課題に関するプログラム検討	キャリア教育*、自然体験プログラム等	策定	実施				継続
情報連携の推進	指針の策定	策定	各関係機関の情報連携の推進				継続
教科・行事における連携の推進							継続

計画事業名	ICT*教育の推進							
主な取組内容	電子機器の活用や各普通教室に校内LANを構築し、ICTを活用した教育の充実をめざします。そのため、ICT活用指導のモデル校を設置し、本区における情報教育の先端校として、区内に広く成果を共有します。							
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30	
ICT活用教育のあり方検討		→						
地上デジタルテレビ導入			導入	→		活用	継続	
校内LANの構築				モデル校	→		拡充	
ICTモデル校実施				研究・研修会の実施	調整	→		拡充

②一人ひとりに向き合う教育の推進

きめ細かな学習指導や生活指導、特別支援*教育への対応など、子どもの状況に対応した教育ができるよう、スクールカウンセラーの派遣や講師・支援員の配置など学校のサポート体制を充実させます。また、教師が子どもたち一人ひとりの心身の発達に十分かわり、人格の形成を支えられる体制を整えます。

計画事業名	不登校施策の充実						
主な取組内容	適応指導教室*を必要な地域に増設し、在籍校との連携を強化しながら、不登校児童・生徒と保護者への支援を充実させます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
適応指導教室の活動スペースの改善		蒲田校					
適応指導教室の増設	候補地検討	→					
	新規教室設置		1校	1校			
指導の充実(適応指導教室数)		2校	3校	4校	→		継続

計画事業名		日本語指導教室の充実						
主な取組内容		日本語指導教室を小中学校で拡充し、日本語指導が必要な外国人児童・生徒や、海外から帰国した児童・生徒に日本語指導を行います。						
		(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
日本語指導教室(通級)	蒲田小学校教室	都認可	→					拡充検討
	中学校指導教室	開設準備	認可開設	指導実施	→			
日本語指導の実施(学校派遣)		年60時間	→					継続

③教育の質の向上と環境の整備

子どもたちのよりよい学びを支える教員の指導力のさらなる向上を図るとともに、子どもたちが安全・安心な環境で、のびのびと学ぶことができるように、環境に配慮した学校施設の整備や高度情報化への対応等、質の高い教育を支える環境を整備します。

計画事業名		学校施設の改築						
主な取組内容		良好な教育環境づくりを進めるとともに、今後、大量の需要が見込まれる学校施設等の改築に対応するため、計画的な改築を進めます。						
		(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
羽田中学校改築工事		工事	→					
学校施設の改築	基本計画		2校	2校	2校	2校	→ 継続	
	基本設計			2校	2校	2校	→ 継続	
	実施設計			2校	2校	2校	→ 継続	
	改築工事				2校	4校	→ 継続	

計画事業名	学校施設の緑化の推進						
主な取組内容	地球にやさしいまちづくりとともに、子どもたちの環境教育の充実を図るために、学校施設を活用した緑化を推進します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
壁面・屋上緑化*・校庭緑化等		4校	4校	4校	4校	4校	継続

計画事業名	学校運営システムの構築						
主な取組内容	インターネット*VPN(仮想専用回線)を利用した教育委員会内ネットワークを構築し、各学校間で教材の共有、校務管理、時数管理等、校務のICT*化を図ります。また、情報の共有化による、調査・統計等の事務処理の効率化を図ります。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
ネットワークの構築		検討	構築	運用	調整		拡充
校務事務のICT化		実施					継続

④地域力を活かした学校づくり

地域の資源を教材として、子どもたちに体験学習の場を広げるとともに、学校を地域のコミュニティ*の拠点として位置付け、地域の人々が学校をサポートしながら、地域ぐるみで子どもたちを育てていく仕組みをつくります。



地域のスーパーで職場体験



小学校の学習に特別出張所も参加



夏のわくわくスクールでの安全マップづくり